

【情報公開文書】

2025年2月18日作成

Ver.1.4

研究課題名	原発性副甲状腺機能亢進症に伴う続発性骨粗鬆症の病態研究：高解像度末梢骨用定量的CT（HR-pQCT）による骨微細構造解析
所属（診療科等）	長崎大学病院 内分泌・代謝内科
研究責任者	原口 愛（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院 内分泌・代謝内科と整形外科で実施します。
研究期間	長崎大学病院長許可日～2028年3月31日
研究目的と意義	原発性副甲状腺機能亢進症は骨粗鬆症の原因となります。本研究では高解像度CTであるHR-pQCTを用いて、原発性副甲状腺機能亢進症の患者さんの骨がどのように変化しているかを調べます。患者さんの骨粗鬆症の状態を知ることは、原発性副甲状腺機能亢進症による骨粗鬆症の早期発見・早期治療と、有効な治療法の選択に重要な情報となります。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>1）原発性副甲状腺機能亢進症の患者さん 50名</p> <p>2）健常人の方：長崎大学病院整形外科の臨床研究「原発性骨粗鬆症の病態解析：HR-pQCTによる骨微細構造の加齢・骨粗鬆症変化の横断・縦断調査」に参加された方の中から50名分のデータを、比較のために使用させていただきます。</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>高解像度CT（HR-pQCT）、骨密度検査、血液尿検査、患者背景情報。</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p>
	<p>●研究の概要・方法</p> <p>原発性副甲状腺機能亢進症の患者さんと健常人の方の、高解像度CT、骨密度検査、血液尿検査、患者背景情報のデータを比較します。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：原口 愛（医師） 長崎大学病院 内分泌・代謝内科</p> <p>住所：長崎市坂本1丁目7番1号</p> <p>電話：095（819）7262 FAX 095（849）7270</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200</p> <p>受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）</p>